

SHINRA TUNING QUA 神羅通信



あ、アスタロット……!

今すへん
この卑猥なものを
外しなさい……ッ!

フフ、随分と大きく育ったわネ……!

ひッ?!

アタシが埋め込んであげたマッシュルのお子、こんなに立派になって……

フフ……もう神経と直結しちゃってるから、快感もバッチリ伝わってくのミツヨ……
……まあ、もう一生外せないけどネ……

や、やあッ……
し、しゃぶらないで……ッ!

れろお……

びびん……
びびん……
びびん……
びびん……
びびん……
びびん……
びびん……
びびん……
びびん……
びびん……

あ

ッ!

びびん!

ほおら、どんな感じっ？
まだ処女のままなのじゃ
お尻開発されきって
俺物のおちんちんで
イカされまくる
気持ちには……んっ

あ、あ、おあ……
お、おちんちんでイクの
すっお……い……っ！

んはぁ……フフ、
アタシの尻尾も
感じてるっ……

使い込まれたアナル、
いい感じよオ……っ！

も、もう
やめえええ！

あ、あ、ああ
くひッ！
あ……ッ！

壊れる寸前までしてっ
愛してあげたの……

ん……おちんちんで
イクの……っ！
……っ！







……
ホリス。

一尺さんの言動
がおかしいし
思ってた先、

馬皇帝の術で肉欲を
な映いまかけられたこと

単独行が過ぎる

百葉百葉……

……私にどうしようと……

おリヤリ
襲われました。

……信じられない

大事な戦い
最中なのに……

……お……

……夢中にな……



— どうですか？ ”

— ” ” ” ” ”

ニラニラ

ニん・ぢぢ

次はこれぞ
舐めろと〜

あ……

……変な味……
ククククク……

呪いははにえ
変態記……

うん……
おはは





あああ...

痛...

本当に
女の人を...

あ...

あ...

兄妹なのと、二人な
二人なはしたな
真似を...

あ...

はア...

あ...

あ...

あ...

あーあーあー

あーあーあー

結局、日妖とキルキ

部ニ感化されます。米

ーその後、

伝染、なんが

うー

……じゃあ次は
私の番ですかハハハ？

修行中(人気を取り戻すための)間違ったマッシュルを召喚して
大変なことになってる図。第三弾で復活オメ。





令嬢萌え。
シェイド君とイチイチヤしでほしい(笑)

アルマは秘めた力が あまりに膨大だから 心身の抑制ができなくて すぐえっちしちゃうの (タイトル)

「アルマ様、
お茶を淹れてあげて……」

「アルマ様、
お茶を淹れてあげて……」

それは夕餉の刻を伝えに
行った時の事であった……

部屋の扉を開けると、そこには自慰行為に耽るアルマ様の姿があった。私の存在を気に留めることもなく……いや、周りにおける存在全てが遮断されている……そう、これは

アルマ様の世界なのだ。

嗚呼、アルマ様……

抑制の効かない内なる力が生み出し続ける欲求……そしてその快楽に戸惑い、怯え、それでも更に求めてしまう背徳的な感情を、ぬいぐるみのお人形である無意識に認識を交換しておられる……

なんとという意地らしさ

なんとという健気さ

そして、

なんとという愛らしさであろう

美を愛する者として自らに問うてみる。これ以上美しいものが浮世に存在するであろうか？

外観だけの美しさではない。

肉体的生理的な刺激に対する喜びや切なさが入り混じった感情、我々如きが共有できようもない少女の世界。そのほんの一端を垣間見るだけで、心身が昂ぶる聖域。

これほど美しいものが……かくも人の心を覆くものが……そのときの私の感嘆たるや……私は……私は……！

これが…伝説の角オナ…!!
この目で見られようとは!

……
……
……
……

……
……

打ちひしがれている私の前で事態は新たな展開を広げた。

なんとということであろう!
アルマ様がぬいぐるみの刺激では充たされなくなってしまうのか、机の角にその秘部を擦り付け始めたのだ!
放られたぬいぐるみが、アルマ様の肉欲の度合いを物語っているように居た堪れない!が、それどころではない。

古からの言い伝えにより、その存在は広く知られてはいるが、実際に目の当たりに出来る者は数少ないという自慰行為…私はそれを今、眼前にしているのである!

伝説はこんなにも身近に実在したのだ!
あんまりな話ではないか!
熱いものがこみ上げてくるではないか!

アルマ様が昇りつめる!
そして、取り乱している私を更に狂わせるような、信じられない事が…いくなれば、奇蹟が起きたのだ…!

絶頂。そして――

失禁。古文書に記されてはいたが、なんと有り難い情景なのであろうか！
今私は、この場面にめぐり合わせてくれた神に心から感謝する。オーマイガッ。愛してる。しかし、神の恩恵はそれだけに留まらなかった。絨毯に吸い込ませてなるものか、と咄嗟に差し出したマイどんぶり、アルマ様の聖水で満たされていき、やがて黄金の水鏡と成ったのだ！

しかもその水鏡の向こうには、絶世の美男が私を見ては微笑んでいるではないか！
私はこんなにも罪深い男なのであったのか。異界の住人までもを魅了してしまうとは！

美貌の君が私を誘う。

無論、それを断る理由はない。
美を愛し、探求する者にとつては、

利那。私は水鏡に吸い込まれて行った……！



その日、ナルサスは人生の幕を閉じた。死因は溺死。しかしながら、その顔は穏やかであったという。

一枚で東京ドーム五つ分のアレ——



微妙な食感。
栄養そこそこ。
美味しさそれなり。

神〇万象チョコ

メーカー希望小売価格 100円
(税込価格 105円)

好評発売中

神羅通信 図

第1巻第1号 平成17年10月30日発行成ラズ (不定期発行)
昭和11年2月29日第三種郵便物不認可

発行 しのぶかあつと
編集 たかなし

魔空軍団

定価 500円
本体 476円